



3年生理数科KCS発展課題研究発表会(7/17(金)5・6校時)無事終了しました

7月17日(金)5、6校時、理数科3年生(38名)によるKCS発展課題研究発表会を行いました。この発表会は、本校SSHの学校設定教科として3年間取り組んだ、教科KCSの集大成となるプログラムであり、今年で3回目の実施になりました。今年度につきましては、3月より新型コロナウイルスによる臨時休業のため、本来行う実験が途中で打ち切れ、また学校再開の6月から英語ポスターの作製に取りかかるなど、イレギュラーなことが重なりました。そのような状況の中で、ALTの先生や大学の先生を中心とする運営指導委員の方からの指導を受けながら、発表の日を迎えることになりました。5校時は、理数科1・2年生、ALTの先生10名、本校の教職員に対して英語発表を行いました。ソーシャルディスタンスを取りながらの発表のため慣れない場面もありましたが、創意工夫し自分たちの取組を伝えることができました。6校時は、2月に行われた日本語発表会で、評価の高かった上位3グループが英語の全体発表を行いました。ALTの先生方からの質問に対して、自分たちなりに英語で表現しながら受け答えをしており、下級生たちにとってとても刺激のある時間だったようです。



3年生の皆さん、お疲れさまでした！！

班	テーマ	日本語訳
A班	Development of a New Programming Language	「新たなプログラミング言語の開発」
B班	Research on Paper Planes	「滞空時間の長い紙飛行機についての研究」
C班	Creating a new breaking ball pitch in baseball	「野球における新しい変化球の製作」
D班	Research in microtones	「微分音についての研究」
E班	Behavior of silicone when we apply high voltage	「ヴァンデグラフ起電機による静電気影響下におけるシリコンオイルの挙動と制御法について」
F班	Making Hand cream from fish oil	「魚油からハンドクリームを作ろう!!」
G班	The Influence of Perception on Sense of Taste	「視覚,嗅覚,触覚が味覚に与える影響」
H班	The Effect of Saccharide on Humans	「糖が人間に与える影響」
I班	How to prevent bacterial growth in unfinished PET bottle drinks.	「ペットボトル飲料内の細菌増殖を防ぐ」
J班	Water-retaining capacity of peat focused on the movement of free water	「自由水の動きに注目した泥炭の保水力について」

J班につきましては、夏季休業中にSSH生徒研究発表会(全国大会)で発表する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で大会自体が中止になってしまいました。今年度につきましては、その代替措置として、動画による一次審査(8月12日)、オンライン質疑応答による二次審査(8月17日、18日)、オンライン口頭発表による最終審査(8月28日)に参加することになりました。

発表会終了後の生徒たちの感想(一部抜粋)です。3年生はKCSの活動全体についても感想を書いてくれました。

～3年生～

- ・ 質疑応答を通して自分の考えが深まり知的な好奇心が刺激された。大学でもこのような経験を積みたい。
- ・ KCSの活動を通じて科学的な力だけでなく、実験方法を自分で考える思考力、日本語から英語ポスターに直す英語力がついた。発表力は以前よりもついたので、大学や入社後にプレゼンで活かしたい。
- ・ KCSの活動では1人ではできないことが多く、特に英語が苦手なので、英語発表は班員のありがたさをより感じる時間だった。
- ・ 英語で発表すると、日本語のときより遥かに完成度の高いものができ、自分たちの理解も深まった。
- ・ 1、2年生が英語で質問してくれ、昨年よりも学校全体の英語力が上がっていると感じた。その行動力がすごいと思った。
- ・ ポスター・原稿で第三者に添削してもらって初めて自分で気づく部分が多く、客観的な視点が欠けていると感じた。自分で見直す際の観点を整理したいと思った。
- ・ 英語を使って発表すると自分の考えやKCSで感じたことを客観的にまとめることができた。1回英訳してからまとめることの利点を大きく感じた。
- ・ 1年以上かけて取り組んだことの集大成がでて達成感を感じた。発表できてよかった。
- ・ 他の班は自分の班と比べてアイコンタクトが多く、話に詰まったりスクリーンばかりを気にしている人がほぼいなかった。事前準備の密度の差かなと思った。もっと時間を上手く使って本番に近い形で練習すればよかった。
- ・ メンバーだけでなく、外部の方、ALT、先生方、被験者の人たちなど色々な人の協力を実感した。
- ・ 研究を始めたときより、全ての力が格段に上がった気がする。KCSによっていろいろな面で成長できた。データをまとめ、発表するスキルは絶対将来に役立つと思う。ありがとうございました！！

～1・2年生～

- ・ 先輩たちの発表がすごく、英語力にとってもあこがれた。同じように発表できるよう頑張りたい。
- ・ KCSの授業で研究に対する意欲を高め興味のある研究をしたい。発表会は参考になることが多く、有意義な時間を過ごせた。
- ・ 自分たちが1年に行った湿原発表とはレベルが違いびっくりした。来年良い発表ができるように普段の授業からリスニング力やスピーキング力を高めたい。ネイティブと話すのが重要だと再確認した。
- ・ どのグループもデータをしっかり取っていた。研究テーマを決めている段階なので、そのテーマでどんな実験ができるかまで考えて決めたい。

